

派遣先所属 宮城県仙台地方振興事務所水産漁港部  
氏 名 伊藤 弘文  
派遣期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

## 1 派遣業務の内容、現況

派遣先の仙台地方振興事務所水産漁港部の管内は宮城県南部区域で、北は東松島市から南は福島県境の山元町までの海岸線を中心に8市17町1村を範囲としています。

地形的には全般的に平坦な砂浜海岸が続いており、特定第3種漁港である「塩釜漁港」は、日本三景の一つとして全国的に知られる「松島」湾に位置し、大小の島々は外洋の波浪を避ける防波堤をなし、天然の良港となっています。

派遣先では主に防潮堤・陸閘などの海岸保全施設や岸壁や物揚場などの漁港施設の復旧・復興に関する業務を行っています。

東日本大震災により津波や高潮から人々を守る防潮堤などの公共土木施設が壊滅的な被害を受け、機能不全となっているため、その災害復旧のための業務です。

また、令和3年2月13日福島県沖を震源とする地震による災害で物揚場などが沈下し漁業活動に支障をきたす状態となっているため、その災害復旧のための業務も行っております。

担当業務は公共土木施設の災害復旧事業の設計業務・工事監督業務及び工事調整等です。

具体的には災害復旧工事は国の補助を受けているため各省庁の検査の受検です。

受検の前に調書の作成等があり、宮城県職員及び他県から自治法派遣の職員と分担して対応しております。

また、日常の業務として、請負契約した工事の工事監督業務及び変更設計業務、町役場や漁業協同組合などの関係機関との工事調整等です。

これについては、防波堤などの復旧工事を進めるために地元漁業協同組合への工事説明や漁業活動(のり養殖、カキ養殖)に支障のないように工事時期の調整や地元企業への工事説明を行っております。関係者の了解を得ることが工事を進捗させるために大変重要で苦勞する事柄です。

今後は、復旧業務を進めるに当たっては、宮城県職員の方から様々なご指導を受けながら、さらなるスピード感を持って被災地の復旧・復興業務に当たっていきたいと思っています。

松島 工事箇所前 のり養殖筏



塩釜 陸閘 防潮堤 工事中



## 2 被災地の復旧・復興の状況

宮城県の地震・津波被災地域においては、仙台地方振興事務所水産漁港部管内のインフラ復旧は岸壁や物揚場などの漁港施設は、全体で約 95%台まで復旧しており、水産業やカキ養殖などの地元の漁業活動に利用されております。

塩釜漁港から船で 20 分の桂島漁港の災害復旧工事は 100%の完成となっております。  
また、防潮堤や陸閘などの海岸保全施設は、全体で約 65%台の完成となっております。  
東日本大震災から 10 年が経過しており、引き続き災害復旧工事に全力を尽くします。  
画像は日本三景のひとつの特別名勝「松島」です。

### 特別名勝 松島



## 3 被災地へ派遣となって感じたこと

宮城県に災害地派遣となって、最終年の五年目になります。

今まで日々、遅くまで災害復旧工事の業務を行って来ました。

コロナ禍で遠出をする機会が少なくなりましたが、日頃の疲れを癒やすため、宮城県の秋保や鳴子温泉、秋田や岩手の奥羽山脈の裾野の源泉掛け流しのひなびた温泉巡りをしております。

心身をリフレッシュして残りの任期を震災の復旧・復興業務に全力で当たっていきます。

### 東北の秘湯 玉川温泉

